

ジオパークだより



発行所
島原半島ジオパーク協議会事務局
E-mail
info@unzen-geopark.jp
TEL
0957-65-5540
創刊 2017年12月1日

日本ジオ認定10周年

持続可能な発展をめざす！

3月29日、島原市森岳公民館において、当協議会の臨時総会が開催され、平成30年度の事業計画案、予算案が承認されました。

島原半島の日本ジオパーク認定10周年という節目の年は、既存の取組に加え、ジオパーク協議会の新たな基本計画の策定や県と共催する記念シンポジウムの開催やツアー造成支援やフオ

トコンテストなどを実施いたします。

会議終了後は、「島原大変前の海岸線をたどるまち歩き」と題したジオツアーを行いました。清流亭く供養塔く音無川という島原市内の身近な場所を解説付きで巡り、新たな発見と驚きのある新鮮な体験は、参加者に好評でした。

自然との共存へ

溶岩ドーム崩壊対策

3月18日、平成噴火により誕生した溶岩ドーム崩壊から地域を守るため進められてきた砂防堰堤嵩上げ工事の完成式が行われました。

会場の大野木場砂防みらい館には、中村長崎県知事、加藤衆議院議員ほか地元関係者等約80名が出席、火山と地域社会の共存のため、より安心して暮らせることを願うイベントとなりました。



工事完成式典テープカット＝大野木場砂防みらい館、深江町（記事および写真提供 国交省雲仙復興事務所）



「島原半島ユネスコ世界ジオパーク情報スペース」の新たな展示として、島原半島のサイトを周遊する5つのモデルコースの紹介や、日本国内の全ジオパークの見どころを紹介した展示パネルなどを設置しました。

がまだすドームリニューアル！



新しい情報スペース　＝がまだすドーム



臨時総会の様子
＝森岳公民館、島原市

わくわく体験で、ジオジオします！

2月と3月に、県自然環境課が主催する留学生対象のジオツアーが、1泊2日で実施されました。県内の留学生の目線で島原半島ユネスコ世界ジオパークの魅力を発掘し、SNSを活用して母国に広く情報を発信するという試みです。

ジオサイトを巡るだけ

の成り立ち」をテーマに、「ジオの匠」のガイドで島原半島誕生の地である南島原市を巡りました。この日は、テキストブックを執筆した自然、歴史、文化のスペシャリスト直々のガイドとあって、長崎市内はじめ約40名が集まりました。

ジオ（大地）と人々の繋がりを聞き、今までとは違う見方ができるようなったと大好評でした。



大引き体験を楽しむ中国・ベトナム出身の留学生。
＝麵館ふるせ有家町

でなく、ツアー後のワークシヨップでは、各自が撮った写真やイラストを使い「島原半島ジオパーク・イチオシ見どころマップ」を作成し、SNSでも発信しました。

ツアーは、「神秘的で心に響く旅として、多くの人に紹介したい」と好評でした。

企業が応援♪ ジオの看板

3月22日、島原市のHOTELシーサイド島原さんが、「大地は動く、人は生きる」というジオパークのキャッチフレーズと応援メッセージと共に頼もしい応援団です。



ホテルとジオパークの看板
＝国道沿い、新湊1丁目

独自の検定で、地域に親しむ

3月13日、杉谷公民館・ほたる女性学級の参加者11名が、「杉谷ジオ検定」に挑戦しました。1年間の学級の中で紹介された、方言、竹取物語、郷土料理等とジオパークとの関わりを、改めて思い起こす良い機会となりました。

受講生からは、「最初は難しそうと思ったが、終わってみたらとても楽しかった」「島原半島っていい所だと思った」と、嬉しい感想を頂きました。今後、他の公民館での展開が期待されます。



試験後、解答の解説を聞く受講生
＝杉谷公民館、島原市

独自の視点で、ジオパークを楽しむ

3/21中国・上海出身でジオ協 専門員の楊 燕(よう えん)さんを講師に「島原半島ジオパークの楽しみ方」と題した3月のジオパークセミナーを行いました。地元である上海のジオパークを含む中国のジオパークと日本のジオパークの運営体制の違いを説明しました。また、長年、島原半島を見てきた楊さんならではの視点で、UGGを特徴づける湧水やおいしい食べ物、何気ない景色等の楽しみ方を紹介しました。参加者の多くがメモを取ったり、大きくうなずいたりとも関心をもって聴いていました。楊さんは、3月で上海に戻りましたが、今後も中国と島原半島の架け橋として活躍してくれることを期待します！

4月セミナーお休みです。



ジオパーク検定合格者と対象初！“ジオの匠”と行くジオツアー

また、ツアーに合わせ考案した「ジオの恵み弁当」を皆さん美味しくいただきました。次回もお楽しみに。

普段見ることのない眺めに興味深々。
＝龍石海岸、西有家町



ジオの恵み弁当

伝統野菜の雲仙こぶ高菜、雲仙の棚田米有明海で採れた一番海苔と太陽卵を使った太巻きなど、地元の食材だけを使ったワンコイン弁当です。守山女性部加工組合（雲仙市吾妻町）

フォトコン 250点のご応募に感謝！

島原半島ユネスコ世界ジオパーク よかとん フォトコンテスト

Unzen Volcanic Area UNESCO Global Geopark YOKATON PHOTO CONTEST

受賞作品

写真コンテストは島原半島ジオパークに訪れた方々から寄せられた写真の中から、最も素晴らしい作品を選び、表彰します。応募作品は、写真コンテストの公式サイトで公開されています。応募期間は、2018年3月1日（日）から2018年3月31日（日）までです。応募方法は、写真コンテストの公式サイトで詳しく説明されています。応募資格は、島原半島ジオパークを訪れた方々です。応募作品は、写真コンテストの公式サイトで公開されています。応募期間は、2018年3月1日（日）から2018年3月31日（日）までです。応募方法は、写真コンテストの公式サイトで詳しく説明されています。応募資格は、島原半島ジオパークを訪れた方々です。

準グランプリ2点

タイトル「コスモスの花畑」
場所 しまばら火砕山（花公園）（島原市）
審査員 長崎県立美術館の館長と島原市立美術館の館長が、この作品は、火山と共生する島原半島の人々の暮らしを色鮮やかに表現したかのような作品である。

特別賞3点

タイトル「天候」
場所 両子岩（南島原市加津夜町）

タイトル「大地の色彩を遊ぶ、秋」
場所 三子路（雲仙市小浜町）

タイトル「雲がなびく」
場所 雲仙市吾妻町
アカウント名 asuka095

タイトル「秋の風景」
場所 雲仙市吾妻町
アカウント名 kana0210kana

タイトル「花の風景」
場所 雲仙市吾妻町
アカウント名 elicaishiguro

【再認定記念】作り手の思いにふれる ジオスイーツ巡りツアー

3/24南島原市商工観光課が、南島原住者と勤務者を対象に、ジオを身近に感じてもらう試食付ツアーを開催しました。今回のツアーの魅力は、ジオサイトを見た後、ジオスイーツを作った店の方からスイーツ誕生秘話や思いを伺えること。中には早崎海岸の玄武岩の上で、話を聞きながら菓子「玄武岩」を試食できる超プレミアムな場面もありました。参加者は、普段足を運ぶ機会の少ないジオサイトで、ジオ(大地)の恵みを見て・食べて・楽しみました。ごちそうさまでした。ぐ。ぐ。ぐ。



松田屋老舗

入江製菓舗